

---

# 臨床工学技士への転身

## ～看護師からのリスタート～

幸坂神次

中通総合病院 血液浄化療法部

### Turnover to Clinical Engineer

～ Restart from nurse ～

Shinji Kohsaka

Nakadori General Hospital

#### < I. 緒言 >

当院の血液浄化療法部では穿刺、返血、患者観察などの日常業務は看護師（以下 NS）と臨床工学技士（以下 CE）が二人ペアで行っており、日常業務ではほぼ同じように働いているため互いの知識や技術に触れる機会がとても多い。

このような環境で働いているうちに自然と臨床の工学分野に興味を引かれ、NS で働きながらも、CE として働きたいと思うようになり、休職し CE の資格を取得することができた。

復職してから、NS の視点に CE の視点が加わったことにより看護の視点だけでは気付かなかったことに気付くようになった。その結果として実際に患者との関わりの中でどちらか一方の知識や考えだけではなく、互いの持っている知識、技術を共有していくことがチーム医療では必要だと改めて感じた。そのため今回は CE、NS のダブルライセンスを得て、今後チーム医療の中でどう活かしていくか考察したため報告する。

#### < II. 経緯・経過 >

図 1 に当院のスタッフのおおまかな業務内容を示す。当院の血液浄化療法部では穿刺、返血、患者観察などの日常業務は NS と CE が二人ペアで行っており、日常業務ではほぼ同じように働いているため互いの知識や技術に触れる機会がとても多い。そのため自然と臨床工学に興味があった。

また、日常業務以外で図 2 のような業務は CE が専門で行っている。実際に急性血液浄化を行って患者が回復していく様子を目の当たりにして、CE の専門業務にあこがれるようになり CE を目指し、その後一年間休職し CE の資格を取得。

CE の資格を取得するには、図 3 のように高校を卒業してから各々の養成校に進学する方法と、医療系の国家資格をすでに取得している方を対象とした臨床工学専攻科に進学する方法などがあ

る。すでに履修している科目は免除されるため1年～2年という短い期間で資格を得ることができる。その時間割の一部を図4に示す。

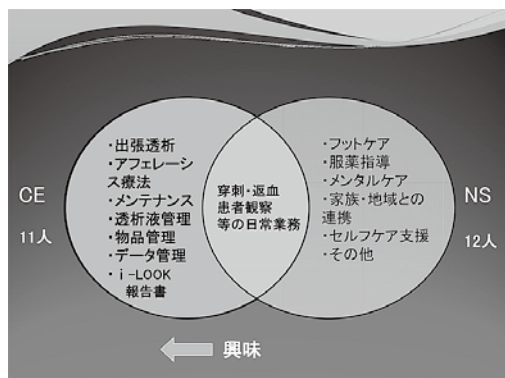


図1



図2

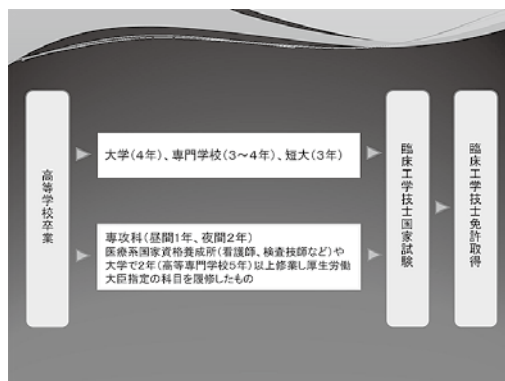


図3

医療系一組	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
救命救急・集中治療技術学	応用数学	呼吸療法技術学	血液浄化技術学	基礎医学実習		医用物理学テスト
救命救急・集中治療技術学	応用数学	呼吸療法技術学	血液浄化技術学	基礎医学実習		
12:10~13:00	休み時間					
医用物理学	電気回路学		体外循環技術学	基礎工学実習		
13:00~16:10	医用物理学	電気回路学	内科学テスト	体外循環技術学	基礎工学実習	

図4

### <Ⅲ. 結果・考察>

復職してから、以前は看護師の視点のみだったが、臨床工学技士の視点が加わったことで看護の視点だけでは気付かなかったことに気付くようになった。その結果として実際に患者との関わりの中でどちらか一方の知識や考えだけではなく、互いの持っている知識、技術を共有していくことがチーム医療では必要だと改めて感じた。

CEとNSでは学んできた分野が異なり、CEは工学面、NSは看護面からチーム医療に関わっていくが、二つの職種が互いの不足している部分を補い、互いの知識、技術を共有し、一人一人の能力が上昇していくことがチーム医療で望ましい形だといえる。

ダブルライセンスを得たことで様々な視点で考えることができるようになり、互いに不足している部分、秀でている部分が見えるようになった。そのため今後はチーム医療の中で工学プラス看護、看護プラス工学と互いが補い、学びあっていけるようにCEとNS両方の視点から双方に関わっていくことでダブルライセンスを活かしていきたい。